第6回

はたらく人にありがとう

メッセージ

入賞作品集

東海ろうきん

理事長あいさつ

東海労働金庫　理事長
度会　章仁

「はたらく人にありがとう」メッセージは東海ろうきん誕生10周年の記念事業として始め、「はたらく人への感謝の気持ち」、「はたらくことの意味」を考えていただく機会として毎年開催しております。第6回目となる今年度は1，864通のご応募をいただきました。本誌は入賞作品のみの掲載となりますが、400字と限られた文字数の中で紡がれた作品たちはどれも素晴らしく、また作品に描かれた人々がとても魅力的であり心惹かれるものでした。ご応募いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

はたらく人を取り巻く生活環境は社会保障費の負担増や原材料費の価格上昇による生活必需品の上昇等に加え、消費税引き上げによる家計の圧迫で厳しい状況が続いています。このような中、心温まるメッセージや感謝の気持ちが寄せられる本企画を継続させ、家族や仲間との絆、互いを思い遣る気持ちに溢れる社会の実現に寄与しなければならないと感じました。

東海ろうきんは、はたらく人の夢ある明日を創造する福祉金融機関として、これからもはたらく人たちとそのご家族の生活を応援していく所存です。

また本事業に賛同しご支援をいただきました愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市、および同教育委員会、ならびに豊田市・亀山市教育委員会、中日新聞社に心から御礼申し上げます。

目次

理事長あいさつ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

小学生の部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

中学生の部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

一般の部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

特別賞授賞校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

授賞式の様子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

ろうきんキャラクター　ロッキー

はたらく人にありがとうメッセージ

大賞

ぼくのお父さんは、リフトマンです。リフトで、に物をブロックみたいにつみあげます。仕事あい手は人ではなくに物で、あいぼうははたらく車なので全ぜんしゃべらないし、自分のみなりも全ぜん気にしません。かみもボサボサだし、あせをだらだらたらしてもそのままもくもくと仕事をしています。けど帰ってくるとすごくうれしそうに「ごはんだ！ごはんだ！」と、ゆかいに歌いながらはいぜんをてつだいます。仕事中みたいにむ口なお父さんじゃありません。自分で作ったへんな歌はたくさんあるし、じょうだんばかり言っていつも家ぞくをわらわせています。でもとつぜんまじめに、「仕事があるからごはんも食べられるしお前たちと遊びにいける。だから仕事って楽しいんだぞ。」と言います。ぼくは家ぞくのために楽しいと思って仕事ができるお父さんをすごいと思います。お父さんありがとう。今度のお父さんのお弁当のおにぎりは、ぼくが作るから楽しみにしててね。

小塚 幌樹さん

愛知県豊田市　3年生

入賞

佐藤 愛李さん

愛知県豊田市　6年生

お父さん、いつも家族のために働いてくれてありがとう。休みの日は家でゆっくりしていたいし、自分の好きな事をやりたいと思うけど、私や弟達といっしょにキャッチボールやおにごっこ、かくれんぼとかいろいろな遊びをしてくれるお父さんはすごいなと思うよ。

お父さんの仕事は車の小さな部品を作る機械を操作したり、リフトに乗って物を運んだりする事で、ずっと立っている事だってあるんだよね。足が痛いって言ってる時もあったね。ずっとやってる仕事でも、まだ慣れてない事もあるだろうし、大変かもしれないけどがんばってね。応援してるよ。いつも帰ってくると、ご飯食べて少しテレビを見たらすぐにねちゃうお父さん。今日もつかれたのかな。ソファでねてるお父さんを見て私はよくそんな事を思っているよ。家族のために一生懸命働いてくれるお父さん。つかれていても私や弟達と遊んでくれる優しいお父さん大好き。これからも家族のためにお仕事がんばってね。

豊島 太一さん

岐阜県可児郡御嵩町　6年生

ぼくの家はじゅう医科病院です。お父さんとお母さんは、いつもいっしょうけんめい犬やねこの様子を見たり、治りょうをしたりしています。動物は言葉を話せないので、飼主さんから状態を聞いたり、さわってよく観察します。必要な時は検査もするそうです。しんさつの時間以外でも、手じゅつをしたり、入院の治りょうなどをします。ぼくがねている時間でも、仕事をしている時があるので、休みの日以外は、いっしょに食べれないことが多いです。家にいる時でも、難しい顔をして、考えこんでいる時があります。そういう時は、治りょうの事を考えているそうです。夜おそくまでやっていることや、三時ぐらいにお昼ご飯を食べることがあるので、とてもつかれたという顔をすることがあります。そういう時は、かたたたきしてあげたいです。家族みんなのために夜おそくまで仕事してくれてありがとう。ぼくもじゅう医をひきつぎます。

平地 恭惟さん

三重県伊勢市　3年生

宅配便の横ざわさんへ

三年一組　平地　恭惟

ぼくは小さい時、宅配便が来ると大よろこびした。トラックが好きな上、箱いっぱいのおかしやおもちゃをくれるからだ。実さいはそ父母がぼくに送った物だが、一、二才のぼくにすればプレゼントをくれるサンタだった。

宅配便のおじさんは、いつもきまって横ざわさんだ。ぼくがトラックを一目見ようと二階の窓をあわてて開けると、横ざわさんも運転席の窓から、ぼくにえ顔で手をふってくれる。毎回かならず、サンタのえ顔だ。

しかしぼくの家がひっこしをしてから、横ざわさんでない人が届けてくれるようになり、もう会わなくなってしまった。しばらくしたある日、「こちらが新しい家なんですね。」と横ざわさんがえ顔で届けてくれた。でもぼくは少し大きくなっていてくれくさく、もう窓を開けなかった。横ざわさんはどう思っただろう。今なら言える。「ありがとう。」

廣垣 柚乃羽さん

三重県伊勢市　2年生

パパのしごとはのうかです。あつい日も、さむい日も、まい日おしごとに行きます。たい風や雪がたくさんふったときも早い時間もよるおそい時間もおしごとに行きます。

やさいをうえるときはまず、土をつくります。小さなあながたくさんあるポットに、一つぶずつたねをまきます。五日ぐらいで、すこし大きいポットにうえかえます。それからうねをつくったハウスやはたけにうえかえます。水やひりょうをあげたり、じゃまなはっぱをとったり、おせわをしたりたいへんそうです。大切にやさいをそだてていました。

しゅうかくしたやさいは、おもさをはかって、きれいにふくろにつめてスーパーにはいたつします。パパは、おきゃくさんに「おいしいといってもらえるとうれしいからがんばれる。」といっていました。パパにいつもおいしいやさいをそだててくれてありがとうといいたいです。

大賞

私が家に帰ると、母が「おかえり」と出むかえてくれる。私はずっとそんな家に憧れていた。私が保育園に通っている頃、親子遠足という行事があった。周りの友達は、お母さんと一緒に手を繋いで歩いていた。その中で私は、友達と友達のお母さんで遠足に行った。私は、なんで私だけお母さんが遠足に来られないの？と悲しくなった。その日から私は、母が働いていることに対して恥ずかしいと思うようになった。

そして中学一年になった春のこと。お母さんが仕事でとった写真を見た。私は以前から母が障害を持っている子たちの先生として働いていることは、知っていた。でも実際に母が生徒と接している姿を見て、申し訳ないなと思うと同時にかっこいいな、と思った。

その日以来母は、私の憧れの人物になっていた。生徒のお母さんと電話をしたり、夜おそくまで仕事をしている母を私はほこりに思う。お母さん、ありがとう。

鈴木 英さん

愛知県名古屋市　2年生

入賞

髙木 千寛さん

愛知県名古屋市　2年生

私が一番感謝しているのは、小学五年生のときの先生です。この先生は、私の人生を変えてくれた人です。このときの私は、やりたいことを遠慮して、なんでも他の子に譲ってしまう子でした。係り決めのときも、私はあまった係りにしようと心に決めていました。

しかし、その先生は、

「あなたのやりたい係りは何ですか。あなたはもっと自分の考えをみんなに聞いてもらいなさい」

私は、その言葉をかけてもらってから、三年たった今も忘れていません。べつに無理しなくてもいいんだと思えるようになり、私の心はとても軽くなりました。

私は、この先生に出会ってから、他にもたくさんのことを教わりました。今まで、照れくさくて、感謝の言葉を伝えたことがなかったので、また会う機会があればこう言いたいです。私は、先生のおかげで、自分自身が変われました。本当にありがとうございます。

杉山 美音さん

岐阜県美濃加茂市　2年生

またか。私の父は家へ帰ってくるとビールを必ず飲む。そんな父に私はうんざりしていた。私は仕事で疲れた人がビールを飲むイメージがある。確かに父は仕事から帰ってきている。だが、疲れた様子を全く見せない。むしろ、笑顔で過ごすのでそんなビールを飲んでいるちゃらんぽらんな父に苛付いていた。

その翌日、私と父は買い物に出かけた。すると、父の上司に出会った。父は上司がまかせた仕事を上手くやったらしく、とても父の事をほめていた。長らく話をした後、「君はきっとお父さんのように働き者になるだろうね」と言われた。私は、嬉しかった。仕事を頑張っている父だったことも。そんな人が自分の親ということがとても、とても嬉しかった。

その日の夜、私は自ら冷蔵庫からビールを出し、コップにビールをそそいだ。父は少し驚いた顔でありがとう。と言った。私は、これからもビールをそそぐだろう。「いつもお疲れ様、ありがとう。」という言葉と共に――。

野々山 遥香さん

愛知県名古屋市　2年生

「お母さんなんか大嫌い。」あの日私が言った言葉。そうあれは大雨の日。私はお母さんと口ゲンカした。ケンカの原因は、仕事を理由に全然相手にしてくれなかったこと。私はずっとがまんしてきた。お母さんは仕事でいそがしいから。めいわくをかけたらいけない。など自分に言い聞かせて。でも私はとうとう言ってしまった。「仕事なんかやめて私と遊んでよ!」と。お母さんはびっくりした顔をしてすぐに表情を変えた。そして「仕事なんかって何よ、私だって頑張ってる。」お母さんの初めてみる顔だった。私はそんなお母さんの顔をみて「大嫌い」と言ってしまった。私は自分の部屋に閉じ込もり、何てことを言ってしまったんだ。とすごく反省した。そうだよ、お母さんは私のために家族のために働いてくれてるんだって。私は涙がでてきた。あの言葉を何でいってしまったんだ、お母さんを傷つけてしまった。私はお母さんを見つけ、「ごめんね、そしてありがとう!」と言った。

高田 茜さん

三重県四日市市　3年生

私は唐揚げを作ってくれている人に、ありがとうを伝えたいです。なぜなら、私は唐揚げが世界で一番大好きな食べ物だからです。

母におつかいを頼まれたときに、いつも一つだけ自分の好きな物を買います。そのとき私は必ず、コンビニで唐揚げを買って帰ります。たくさん歩いた後に食べる唐揚げは、本当に最高です。その、とてもおいしい唐揚げは作ってくれる人がいなければ食べることは出来ません。唐揚げがない生活なんて、考えることが出来ません。

なので、私は唐揚げを作ってくれている人にありがとうを伝えたいです。

もちろん、母も私においしい唐揚げを作ってくれます。コンビニなどの店員さんには、なかなか感謝の気持ちを伝えることは出来ないので、唐揚げを作ってくれている全ての人への感謝の気持ちをこめて、母に唐揚げを作ってあげたいと思います。

大賞

父は七一歳。数年前、脳出血で倒れた。命はとりとめたものの仕事はできなくなった。

父は、家の外回りの外壁や門扉を造る職人だった。土日もなく、朝から晩まで働き詰めだった。父はよく自分の手掛けた仕事を私達姉妹に見せてくれた。その時の、満足気な笑顔は忘れられない。仕事に誇りを持っている人だった。

私が小学生の時、父は母と離婚し私と妹を引きとった。仕事をしながら、慣れない家事や小学校の細々した事をこなした父。本当に大変だったろうと思う。私達を育てるのに必死だった父の姿を想うと涙が出てくる。

そんな父が倒れ、仕事を回して頂いた工務店の方がお見舞いにみえた時に頂いた言葉は私の自慢だ。「お父さんが手掛けた仕事でクレームをつけられた事は一度もないんだ。」これが父なんだ。

お父さん、あなたは私の誇りであり目標です。これからもずっと。本当にありがとう。

上野 亜鐘さん

愛知県清須市

入賞

澤藤 孝文さん

岐阜県海津市

私には小学二年生になる娘がいるが、共働きのため、時々、夕方学童保育に娘を迎えに行く。そこでよく出迎えてくれるのが、指導員の「オウちゃん」という女性だ。「今日はお父さんなの？良かったねえ。」と、いつも元気で明るく迎えてくれる。娘もオウちゃんとさよならする時はハイタッチだ。帰り道は、オウちゃんと遊んだ話、宿題を見てくれた話など、娘の話が止まらない。友達とケンカして独りぼっちでいた時も、オウちゃんが話を聞いてくれて、一緒に遊んでくれるのだという。娘にとってオウちゃんはなくてはならない友達のようだ。

そんな娘の姿を見て、安心して学校に送り出せる。オウちゃんがいるから。そして、お陰で私と妻も仕事に行くことができる。

「オウちゃん、いつもありがとう。そしてこれからもよろしくお願いします。」娘が毎朝元気よく出かけていく時、私は心の中でいつもそう思っている。

小阪 智幸さん

愛知県豊田市

おやじへ

今も、元気に働くおやじは六四歳です。

七年前、世間を騒がした世界金融危機の中仕事から帰って一言、「リストラになった！」と。落ち込む父に、「おやじ！流行に乗ってるな。」と家族は大賑いでした。あの時、冗談を言って励ましましたが、不安になったのを覚えています。

その後、父は話下手ですが、タクシー運転手などをして必死に働いてくれました。様々な事を乗り越えて、家族を守りぬいた父を誇りに思います。その強さと優しさに、感謝の言葉は尽きません。今では新しい職場で、「バレンタインこんなにもらっちゃった。」と、自慢そうに話す父の姿に、家族が笑顔となり温かい気持ちになります。

現在、俺も結婚しました。いつの日か、子どもから「お父さん凄いね。ありがとう。」と言われる、おやじの様なおやじになります。

おやじ、ありがとう。

矢田 航暉さん

三重県鈴鹿市

私がはたらく人にありがとうを言いたい人は、私の兄です。兄は私と九歳も年がはなれています。だから、私が中学生の頃にはもうはたらく人でした。朝から作業服を着て仕事に行ったりとか、夜勤で昼の間寝ていて夜に作業服で出て行ったりといろいろ私が中学生の時から兄を見ていて、とても大変そうだと思いました。しかし、そんな兄の姿を中学の頃から見ていた私は、いつのまにか兄みたいになりたいと私の目標になっていました。その時、父は漁師をしているのですが、魚の収穫が年々と厳しくなって行く一方だったので兄が生活を支えているようなものでした。だから、私は兄のようになるという目標のようなものを立て、私は、工業高校に進学して、就職を希望に三年間工業高校で勉強をして、私も無事就職先が決まり目標に近づいたと思いました。そして、いつも作業服を着て仕事に行き私たち家族の生活を支えてくれた兄に私は、ありがとうと言いたいです。

飛田 康介さん

三重県亀山市

私は、家事と仕事を両立して兄弟二人を親一人で育ててくれている母の姿に日々感謝している。

母は、私たち二人を養うために市内の水道メーター検針員の仕事をしている。たとえ雨風が強い日や夏の暑い日、土日祝日でも決められた日に検針はある。休みも少なく、毎日のように長時間歩きづめで疲れているのに、家に帰ってきてからも私たち二人のためにご飯を作ってくれる。そして、私たちよりも早く起きていつも弁当を作ってくれる。朝は自分の支度もあるのにもかかわらず、雨の日には最寄り駅まで送迎もしてくれる。

自分の身を粉にしてまで私たち二人の為に毎日のようにがんばってくれているのに私は「ありがとう」と恥ずかしくて言えない。でも本当は感謝してもしきれないくらい感謝している。来年からは社会人になるので、これまで苦労をかけた分親孝行をして恩返しをしたい。そして「ありがとう」と伝えたい。

第6回 はたらく人にありがとうメッセージ

特別賞授賞校

豊橋市立松葉小学校
豊橋市立岩西小学校
豊橋市立西郷小学校
豊橋市立二川小学校
豊橋市立野依小学校
岡崎市立梅園小学校
岡崎市立井田小学校
岡崎市立城南小学校
岡崎市立六名小学校
高浜市立翼小学校
岡崎市立大門小学校
碧南市立新川小学校
豊田市立中金小学校
豊田市立上鷹見小学校
豊田市立井上小学校
豊田市立朝日小学校
豊田市立梅坪小学校
豊田市立挙母小学校
豊田市立前山小学校
豊田市立若林東小学校
豊田市立堤小学校
瀬戸市立品野台小学校
江南市立古知野北小学校
御嵩町伏見小学校
菰野町立菰野小学校
津市立南立誠小学校
三重県立聾学校
伊勢市立明倫小学校
伊勢市立早修小学校
伊勢市立中島小学校
伊勢市立上野小学校
伊賀市立新居小学校
尾鷲市立矢浜小学校
豊橋市立羽田中学校
西尾市立寺津中学校
豊田市立足助中学校
名古屋市立供米田中学校
名古屋市立宝神中学校
名古屋市立明豊中学校
名古屋市立鳴海中学校
名古屋市立千鳥丘中学校
名古屋市立あずま中学校
名古屋市立森孝中学校
名古屋市立守山西中学校
名古屋市立千種台中学校
名古屋市立香流中学校
名古屋市立北山中学校
名古屋市立駒方中学校
豊田市立小原中学校
豊田市立梅坪台中学校
豊田市立高岡中学校
美濃加茂市立西中学校
津市立朝陽中学校
四日市市立笹川中学校
四日市市立西笹川中学校
菰野町立菰野中学校
四日市市立三滝中学校
津市立南郊中学校
津市立久居西中学校
松阪市立中部中学校
鳥羽市立加茂中学校
志摩市立志摩中学校
伊賀市立霊峰中学校
愛知県立緑丘商業高等学校
誠信高等学校
三重県立特別支援学校
北勢きらら学園
三重県立津工業高等学校
三重県立伊賀白鳳高校
三重県立特別支援学校
東紀州くろしお学園
おわせ分校

●たくさんのご応募ありがとうございました●

授賞式の様子

2015年11月23日（勤労感謝の日）

朗読 岡本典子さん

小学生の部

中学生の部

一般の部

健全・安心・貢献
東海ろうきん

東海労働金庫

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目7番12号
TEL：052(243)8811(代)